



希望を胸に新しい船出

磐田南小学校のシンボルである三代目大松や、ちょうど見頃となった桜が迎える中、4月7日の入学式には、新たに83人の子供たちを迎え全校児童599人で、磐田南小学校が令和2年度、新たな出発をしました。今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染防止のため、規模や時間を縮小して行いましたが、新1年生となった子供たちの、小さな椅子に緊張しつつ座っている姿、話を聞く態度、式に臨む姿勢としてとても立派でした。



入学した新1年生の子供たち、ひとつ進級した子供たちの一人ひとりが、大きく成長していけるよう、職員一同決意を新たにしました。

「思い」を「思いやり」に【1学期始業式 式辞】

新しい1年が始まります。午前中には、83人の1年生が入学しました。そして、新しい先生方との出会いもしました。皆さんは、それぞれに、一つ進級して今日の始業式を迎えました。新しい年度を迎えて、どの子も、やる気いっぱい登校したことと思います。この気持ちを忘れないで、先生方の御指導のもと、勉強や運動に力いっぱい、がんばりましょう。

さて、想像をしてみてください。やらなくていいですよ。机の上に、鉛筆を立ててみます。そっと離さないと立ちません。やっと立てても、ちょっとした揺れで倒れてしまうでしょう。

では、なぜ校庭の「おおまつ」は、倒れないのでしょうか。そうですね、「根っこ」がしっかり支えているからですね。でも「根っこ」は土の中で見えません。大事なものほど見えにくいものです。皆さんにも、見えないうりっぱな「根っこ」があります。これを「思い」といいます。

困っている子がいたら、助けたいな。とか、ゴミが落ちていたり、汚れたところを見つけたりしたら、きれいになるといいな。

・・・といった「思い」です。だけど、残念なことに「思い」は見えません。

こういった「思い」を行動にすること、これを「思いやり」といいます。「思い」は見えませんが、「やさしい声をかける、ごみを拾う、雑巾で拭く」という「思いやり」は見えます。見えるからこそ勇気もいります。

強い心で、おおまつの「お」、思いやりの行動をして、「輝きいっぱいの南の子」を目指しましょう。

「かがやき いっぱい 南っ子」【学校教育目標】

昨年度から引き続き本年度も学校教育目標を「かがやき いっぱい 南っ子」としました。保護者や地域の方々の願いをしっかりと受け止め、磐田南小学校の伝統やよさを発展・充実させていきたいと考えています。今後とも皆様の御支援・御協力をいただけますようお願い申し上げます。

(校長 上野 明彦)